

# プッシュ通知スターターキット

---

## ユーザーマニュアル

この文章に含まれる情報は、公表の日付の時点での考え方を表しています。市場の変化に応える必要があるため、記載されている内容を約束しているわけではありません。この文書の内容は印刷後も正しいとは保障できません。この文章は情報の提供のみを目的としています。

© Copyright 2014 Microsoft Corporation. All rights reserved.

---

初版: 2014 年 12 月 01 日

# 目次

---

STEP 1. Notification Kit について .....	3
1.1 はじめに .....	4
STEP 2. サーバーサイドの構成 .....	6
2.1 通知ハブの構成 .....	7
2.2 Web サイトの構成 .....	10
2.3 Visual Studio からデプロイ（GitHub からデプロイしていない場合） .....	14
2.4 FTP でデプロイ（GitHub、Visual Studio からデプロイしていない場合） .....	16
STEP 3. クライアントサイドの構成 .....	18
3.1 iOS の開発 .....	19
3.2 Android の開発 .....	20
3.3 Windows Store の開発 .....	21
3.4 Windows Phone の開発 .....	22
STEP 4. Kit を利用する .....	23
4.1 プッシュ通知管理ポータルへのアクセス .....	24
4.2 通知の送信（Send Notification タブ） .....	25
4.3 宛先一覧の操作（Registration Devices タブ） .....	27
4.4 通知の予約（Schedule Notification タブ） .....	28

---

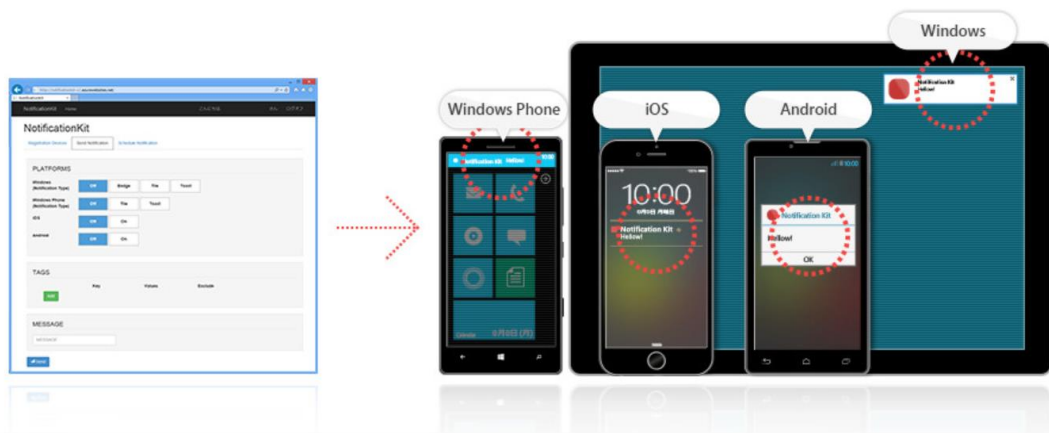
## STEP 1. Notification Kit について

この STEP では、本 Kit の概要について説明します。

## 1.1 はじめに

本 Kit は Windows, iOS, Android などのアプリケーションに対して簡単にプッシュ通知を組み込むためのフレームワークです。アプリケーションの継続率や再帰率を向上させるために重要なプッシュ通知ですが、機能要件によっては実装が複雑で開発・運用コストがかかります。この Kit を用いることで開発者は大幅に開発コストを削減して（サーバーサイドを実装することなく、クライアントサイドにいくつかのコードを追加するだけ）、非常に簡単にスケラブルで柔軟なプッシュ通知を実装することができます。

サーバーサイドの実装不要で簡単導入、  
しかも 継続的に無料で利用できる 新しいプッシュ通知のキットをオープンソースで提供



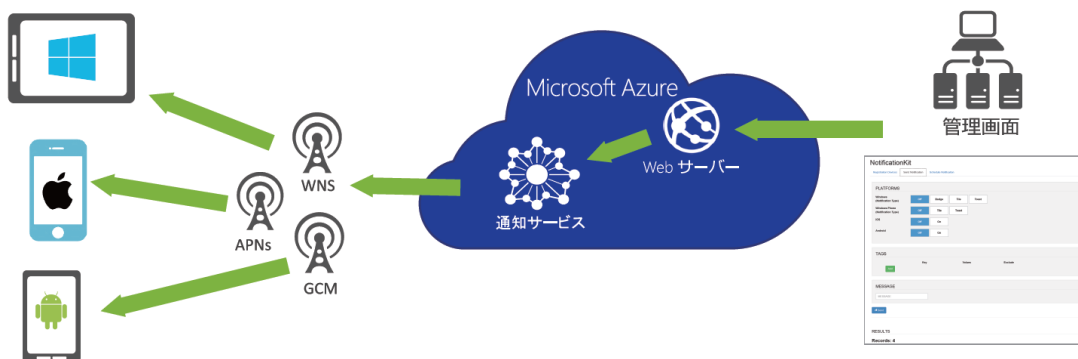
この Kit は以下の機能を有します。

- ✓ プッシュ通知管理ポータル
- ✓ iOS、Android、Windows に対応したマルチデバイス対応プッシュ通知（リアルタイム大量配信、日時指定によるスケジュール通知、通知先デバイスのグルーピング・フィルタリング）
- ✓ 監視（通知の成功、失敗など）
- ✓ デバイス登録情報の一覧表示、更新、削除、追加
- ✓ デバイス登録情報のインポート・エクスポート（CSV 形式）
- ✓ 障害発生時の自動復旧（高可用性）

以下のサービスに対応しています。

- ✓ Android - Google Cloud Messaging (GCM)
- ✓ iOS - Apple プッシュ通知サービス (APNS)
- ✓ Windows ストアアプリ - Windows プッシュ通知サービス (WNS)
- ✓ Windows Phone - Microsoft プッシュ通知サービス (MPNS)

Kit はパブリッククラウドである Microsoft Azure のプッシュ通知サービスをベースに実装されています。プッシュ通知サービスにはリアルタイム大量配信、データ管理、サービス監視など便利な機能が予め実装されているので、開発者はプッシュ通知に関わる全ての機能を実装する必要がありません。また Kit にはプッシュ通知を管理するための、Web ポータルが含まれているので管理用 UI を開発する必要もありません。



この Kit を利用するためには Azure アカウントの作成、Web サイトの構成、通知ハブの構成が必要です。全て GUI で簡単に設定できますし、毎月 1,000,000 プッシュ通知以内であれば継続的に無料で利用することができます。

Azure のアカウントをお持ちでないユーザーは次のサイトを参考に作成してください。尚、Azure には一ヶ月無償の評価版が提供されていますが、本キットが利用するサービスは無償枠が提供されているため枠内であれば（無償期間一ヶ月を超えて）継続して無料で利用できます。

<http://aka.ms/mkaz>

登録が完了すると以下の URL から Azure 管理ポータルにアクセスできます。この管理ポータルから Azure の様々なサービスを利用することができます。

<http://manage.windowsazure.com/>

名前	種類	状態	サブスクリプション	場所
AdventureWorks2012	SQL データベース	オンライン	RedDog	日本 (東)
az540975	CDN エッジポイント	有効	RedDog	東アジア
az549829	CDN エッジポイント	有効	RedDog	東アジア
azr8k	バックアップコンテナー	アクティブ	RedDog	東アジア
azr8lob	ストレージアカウント	オンライン	RedDog	東アジア
azr8vhds	ストレージアカウント	オンライン	RedDog	東アジア
cert1	証明書	停止済み	RedDog	日本 (東)
cert2	証明書	停止済み	RedDog	日本 (東)
cloudf	クラウドサービス	アクティブ	RedDog	東アジア
cloudf-vnet	仮想ネットワーク	作成済み	RedDog	sg1 (東アジア)
cloudfpush	Web サイト	実行中	RedDog	東アジア
cloudfsharp	モバイルサービス	準備完了	RedDog	東アジア
cloudfsharp-hub	Service Bus 名前空間	アクティブ	RedDog	東アジア
cloudfsharp	Service Bus 名前空間	アクティブ	RedDog	日本 (東)

---

## STEP 2. サーバーサイドの構成

この STEP では、Azure のサービスである[通知ハブ]、[Web サイト]を構成して Kit 本体をデプロイします。

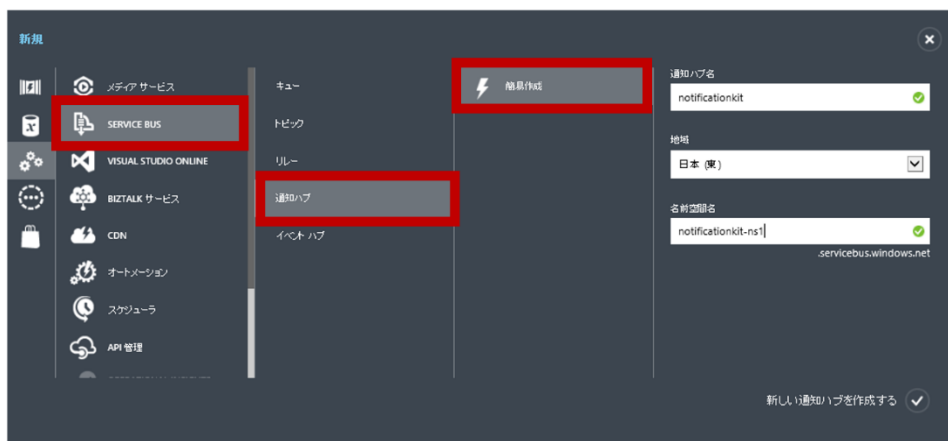
## 2.1 通知ハブの構成

プッシュ通知の基盤として動作する Azure 通知ハブを構成します。

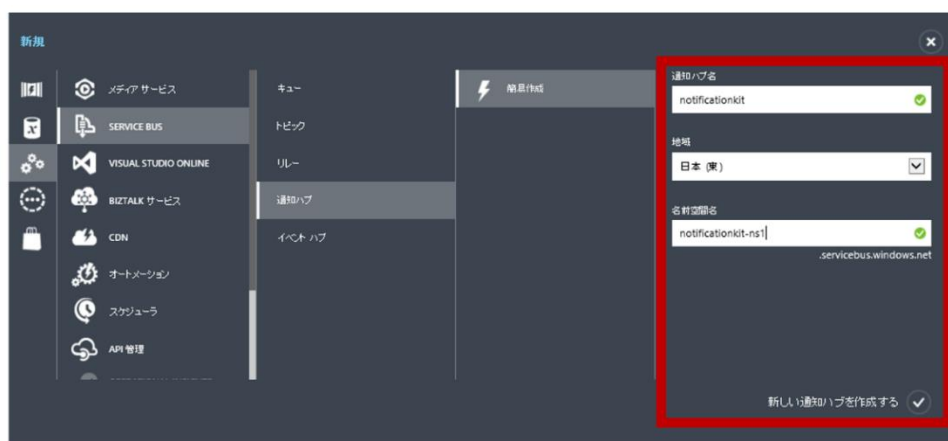
1. Azure 管理ポータルにログインし、画面の左下にある [+新規] をクリックします。

<http://manage.windowsazure.com/>

2. [アプリケーション サービス]、[SERVICE BUS]、[通知ハブ]、[簡易作成] の順にクリックします。



3. 通知ハブ名に任意の名前を入力して、アプリケーションをデプロイする場所（地域）を選択して、右下の [新しい通知ハブを作成する] をクリックします。なお、名前空間名に「指定された名前は使用できません」というエラーが表示された場合は他のユーザーが作成した名前空間と重複しているので別の名前空間を設定します。



4. 前の手順で作成した名前空間をクリックし、上部にある [通知ハブ] タブをクリックして、作成した通知ハブを選択します。

service bus

名前空間名	状態	種類	場所	サブスクリプション	作成日
notificationkit-ns1	✓ アクティブ	通知ハブ	東アジア	Windows Azure MSDN - VL...	2014/11/21 19:25:35

notificationkit-ns1

通知ハブ 構成

Service Bus 名前空間が作成されました。  
作業開始するためのオプションは次のとおりです

☐ 次回アクセス時はクイックスタートをスキップする

notificationkit-ns1

通知ハブ 構成

名前	状態	サブスクリプション
notificationkit	✓ アクティブ	Windows Azure MSDN - Visual Studio Ultimate

5. [接続情報] タブをクリックして表示された画面から「DefaultListenSharedAccessSignature (クライアントユーザー用)」と、「DefaultFullSharedAccessSignature (管理者用)」の接続文字列をメモ帳などにコピーしておきます。

APNS 認証エラー WNS 認証エラー 受信メッセージ 7 項目表示 相対 1 時間

12:55	13:00	13:05	13:10	13:15	13:20	13:25	13:30	13:35	13:40	13:45	1
-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---

使用状況の概要

アクティブ 利用可能

このサブスクリプションにおける 11/1/2014 以降のプッシュ数

プッシュのうち 使用中

概要

接続文字列の表示

状態  
アクティブ

名前

接続情報 削除



## 接続情報へのアクセス

通知ハブ 'notificationkit' に接続するには、この接続情報を使用します。

SAS ?

名前	接続文字列	
DefaultListenSharedAccessSignature	Endpoint=sb://notificationkit-ns1.servicebus.windows.net;/SharedAccessKeyName=De	
DefaultFullSharedAccessSignature	Endpoint=sb://notificationkit-ns1.servicebus.windows.net;/SharedAccessKeyName=De	

6. 最後に[スケール]タブをクリックして無料になっていることを確認しておきます。

## notificationkit

ダッシュボード 監視 **スケール** 構成 デバッグ

### 容量

通知ハブ層

**無料**

基本

標準

なお、通知のスケジュール配信機能を利用したい場合は標準（有料）を設定してください。

### 料金詳細

<http://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/details/notification-hubs/>

## 2.2 Web サイトの構成

つづいて、Azure 管理ポータルから Azure Web サイトの構成を行います。

1. [コンピューティング]、[Web サイト]、[カスタム作成] の順にクリックします。



2. Web サイトの名前を入力して、アプリケーションをデプロイする場所（地域）を選択し、データベースを [無料の 20MB SQL データベースの作成] に設定します。また GitHub から直接デプロイする場合は「ソース管理から発行」にチェックをしてください。その後、[→] をクリックします。

新しい WEB サイト - カスタム作成

### Web サイトの作成

URL  
notificationkitweb .azurewebsites.net

WEB ホスティング プラン  
DefaultServerFarm (日本 (東), 無料)

データベース  
無料の 20 MB SQL データベースの作成

DB 接続文字列名  
DefaultConnection

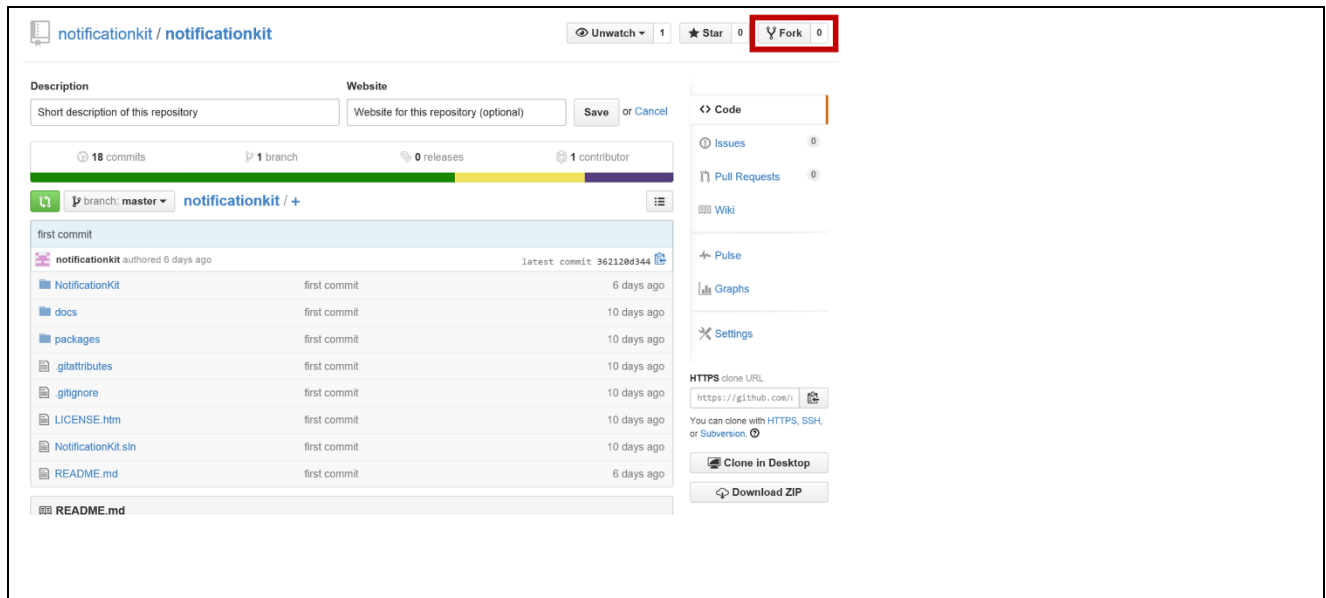
☒ ソース管理から発行

→

Note: GitHub から直接デプロイする場合は GitHub にログインした状態で Notification Kit のリポジトリのクローンを作成するか fork しておく必要があります。

### Notification Kit リポジトリ

[http://aka.ms/nkit\\_src](http://aka.ms/nkit_src)



3. データベースのログイン名、パスワードを設定して [✓] をクリックします。

新しい WEB サイト - カスタム 作成

## データベースの設定の指定

名前

サーバー

サーバー ログイン名

サーバー ログイン パスワード    パスワードの確認  
   

地域

☐ データベースの詳細設定を構成します

←    ✓

4. 「ソース管理から発行」をチェックした場合、次の画面が表示されるので GitHub を選択して、リポジトリ名に notificationkit を選択して [✓] をクリックします。



5. 作成した Web サイトの[構成]タブをクリックして[アプリケーション設定]に以下の情報を設定します。（ここでは Web サイトと通知ハブの関連付けをしています）



#### 全般

.NET FRAMEWORK バージョン

V3.5

**V4.5**

PHP バージョン

オフ

5.3

**5.4**

5.5

キー	値
----	---

NotificationHubPath	前のステップで作成した通知ハブの名前
NotificationHubConnectionString	前のステップでコピーした 「DefaultFullSharedAccessSignature（管理者用）」の値
UseScheduleOption（オプション）	スケジュール配信の有効化（有料） true：使用する false（デフォルト）：使用しない ※使用する場合は通知ハブのスケールを無料ではなく標準 にしておく必要があります。

## アプリケーション設定



WEBSITE_NODE_DEFAULT_VERSION	0.10.32
NotificationHubConnectionString	igeSharedAccessKey;SharedAccessKey=[your secret]
NotificationHubPath	hub name
UseStandardTier	True
キー	値

7. [スケール]タブをクリックして無料になっていることを確認しておきます。

[ダッシュボード](#)
[デプロイ](#)
[監視](#)
[WEB ジョブ](#)
[構成](#)
[スケール](#)
[リンク済みリソース](#)
[バックアップ](#)

## web ホスティング プランのモード

WEB ホスティング プランのモード

無料	共有	基本	標準
----	----	----	----

## Azure Websites の料金詳細

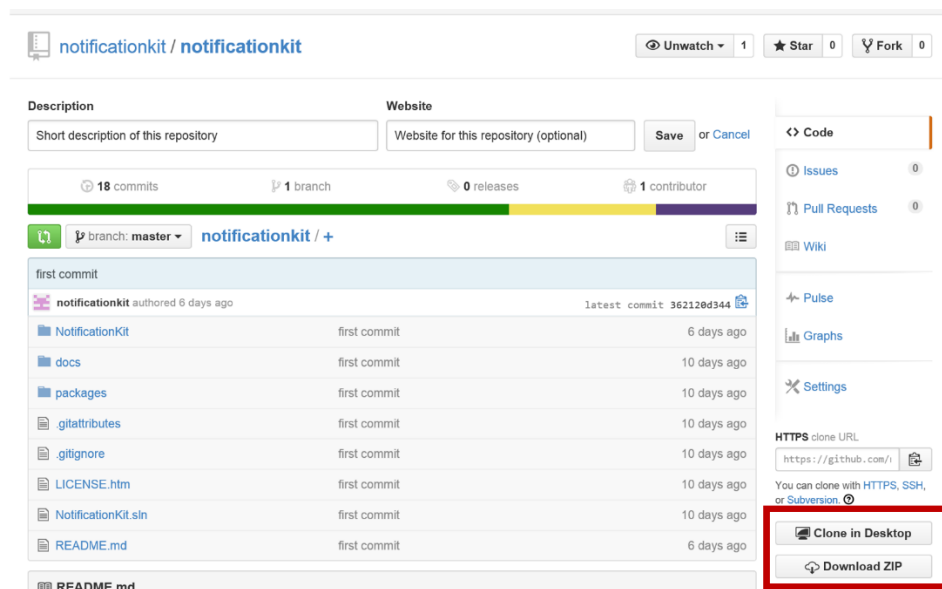
<http://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/details/websites/>

## 2.3 Visual Studio からデプロイ（GitHub からデプロイしてない場合）

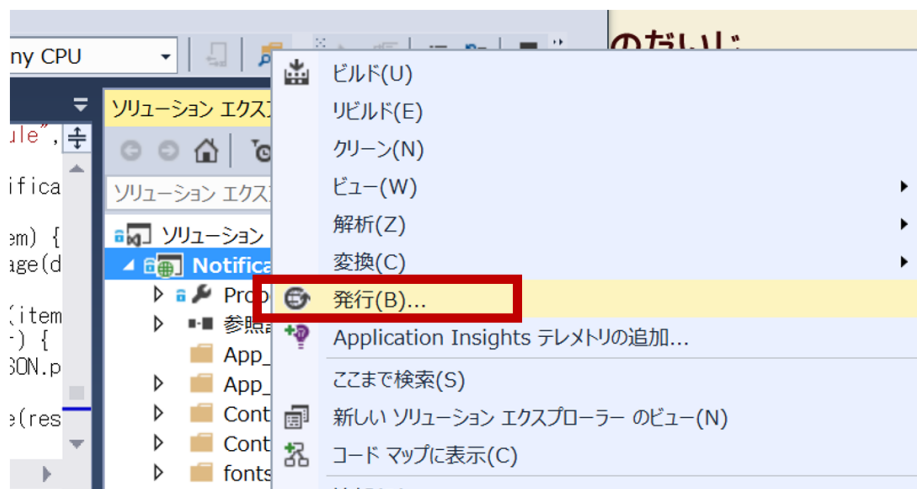
Visual Studio 2013 をお持ちであれば、Web Deploy で簡単にアプリケーションを Azure Web サイトにデプロイすることができます。

1. GitHub からリポジトリのクローンを作成、もしくは ZIP ファイルをダウンロードした後、NotificationKit のソリューションファイル（NotificationKit.sln）を開きます。

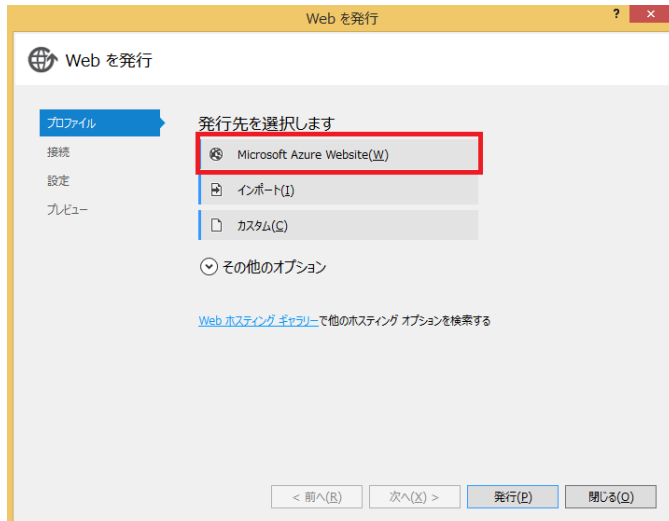
[http://aka.ms/nkit\\_src](http://aka.ms/nkit_src)



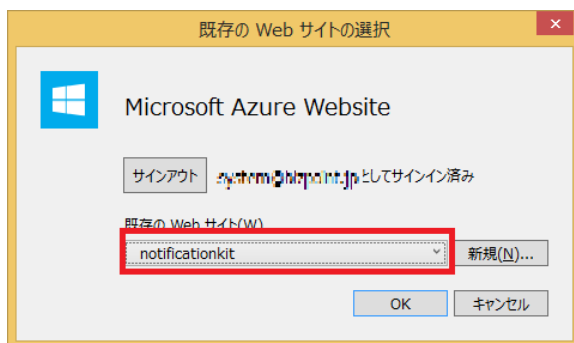
2. ソリューションエクスプローラでプロジェクトを右クリックし、[発行]をクリックします。



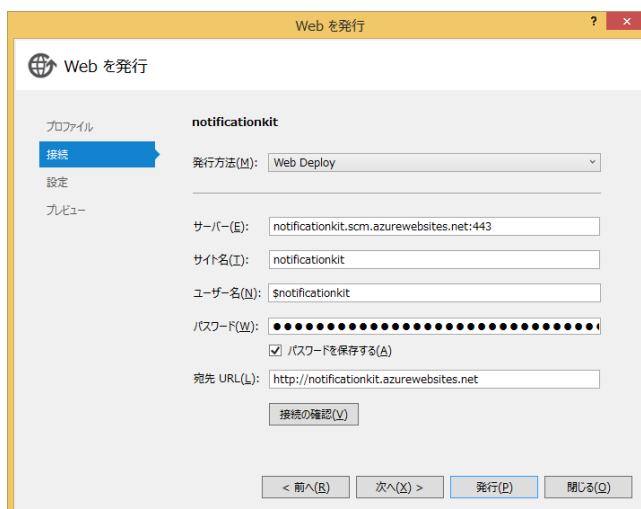
3. [Microsoft Azure Website]をクリックします。



4. サインインし、前の手順で作成した Web サイトを選択し、[OK]をクリックします。



5. [発行]をクリックします。



## 2.4 FTP でデプロイ（GitHub、Visual Studio からデプロイしてない場合）

FTP で Kit を Azure Web サイトにデプロイします。

1. Azure 管理ポータルで Web サイトのダッシュボードを開き、[デプロイ資格情報のリセット]をクリックします。



The screenshot shows the Azure Portal dashboard for a web site. The 'Dashboard' tab is selected. The main area shows a timeline from 17:55 to 18:55. On the right, the 'Summary' section is expanded, and the 'Reset deployment credentials' option is highlighted with a red box.

web エンドポイントの状態 プレビュー

監視する Web エンドポイントが構成されていません。作業を開始するには、Web エンドポイントを構成してください。

WEB エンドポイントの監視の構成 [→](#)

自動スケールの状態

標準 Web サイトで、自動スケールを構成し、サービスに必要な分だけを利用できます。

自動スケールの構成 [→](#)

自動スケール操作のログ [→](#)

使用状況の概要

■ NKIT ■ その他の WEB サイト ■ 利用可能

概要

- 新しいポータルにアクセス プレビュー
- 適用可能なアプリケーションとサービスの表示
- 接続文字列の表示
- 発行プロファイルのダウンロード
- デプロイ資格情報のリセット**
- 発行プロファイルの資格情報のリセット
- GitHub から切断
- Visual Studio Online での編集 プレビュー
- 新しい展開スロットの追加 プレビュー

2. 任意のユーザー名とパスワードに変更します。

### 新しいユーザー名とパスワード

Git および FTP では、認証に Windows アカウントを使用できないため、このダイアログで、このようなテクノロジーの使用時に使用できるユーザー名とパスワードを指定できます。

このユーザー名とパスワードを使用して、Windows Azure ポータルへのログインに使用するアカウントに関連付けられたすべてのサブスクリプション内の Web サイトにデプロイできます。作成する Web サイトごとに資格情報を設定する必要はありません。

ユーザー名

KitFtpUser

新しいパスワード

●●●●●●●●

パスワードの確認

●●●●●●●●



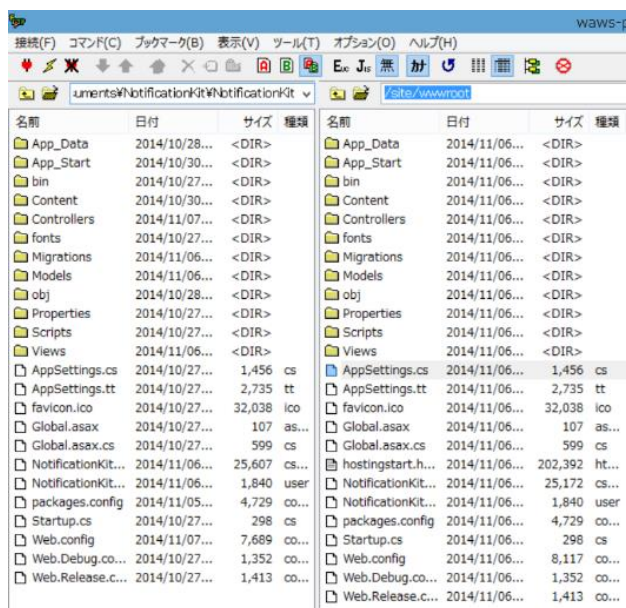


3. ダッシュボード内に表示される デプロイ/FTP ユーザー にてユーザー名が変更されていることを確認します。

デプロイ / FTP ユーザー

KitFtpUser

4. FTP ツールなどを使って Azure Web サイトの /site/wwwroot に NotificationKit フォルダの内容をアップロードします。



名前	日付	サイズ	種類
App_Data	2014/10/28...	<DIR>	
App_Start	2014/10/30...	<DIR>	
bin	2014/10/27...	<DIR>	
Content	2014/10/30...	<DIR>	
Controllers	2014/11/07...	<DIR>	
fonts	2014/10/27...	<DIR>	
Migrations	2014/11/06...	<DIR>	
Models	2014/11/06...	<DIR>	
obj	2014/10/28...	<DIR>	
Properties	2014/10/27...	<DIR>	
Scripts	2014/10/27...	<DIR>	
Views	2014/11/06...	<DIR>	
AppSettings.cs	2014/10/27...	1,456 cs	
AppSettings.tt	2014/10/27...	2,735 tt	
favicon.ico	2014/10/27...	32,038 ico	
Global.asax	2014/10/27...	107 as...	
Global.asax.cs	2014/10/27...	599 cs	
NotificationKit...	2014/11/06...	25,607 cs...	
NotificationKit...	2014/11/06...	1,840 user	
packages.config	2014/11/05...	4,729 co...	
Startup.cs	2014/10/27...	298 cs	
Web.config	2014/11/07...	7,689 co...	
Web.Debug.co...	2014/10/27...	1,352 co...	
Web.Release.c...	2014/10/27...	1,413 co...	

名前	日付	サイズ	種類
App_Data	2014/11/06...	<DIR>	
App_Start	2014/11/06...	<DIR>	
bin	2014/11/06...	<DIR>	
Content	2014/11/06...	<DIR>	
Controllers	2014/11/06...	<DIR>	
fonts	2014/11/06...	<DIR>	
Migrations	2014/11/06...	<DIR>	
Models	2014/11/06...	<DIR>	
obj	2014/11/06...	<DIR>	
Properties	2014/11/06...	<DIR>	
Scripts	2014/11/06...	<DIR>	
Views	2014/11/06...	<DIR>	
AppSettings.cs	2014/11/06...	1,456 cs	
AppSettings.tt	2014/11/06...	2,735 tt	
favicon.ico	2014/11/06...	32,038 ico	
Global.asax	2014/11/06...	107 as...	
Global.asax.cs	2014/11/06...	599 cs	
hostingstart.h...	2014/11/06...	202,392 ht...	
NotificationKit...	2014/11/06...	25,172 cs...	
NotificationKit...	2014/11/06...	1,840 user	
packages.config	2014/11/06...	4,729 co...	
Startup.cs	2014/11/06...	298 cs	
Web.config	2014/11/06...	8,117 co...	
Web.Debug.co...	2014/11/06...	1,352 co...	
Web.Release.c...	2014/11/06...	1,413 co...	

---

## STEP 3. クライアントサイドの構成

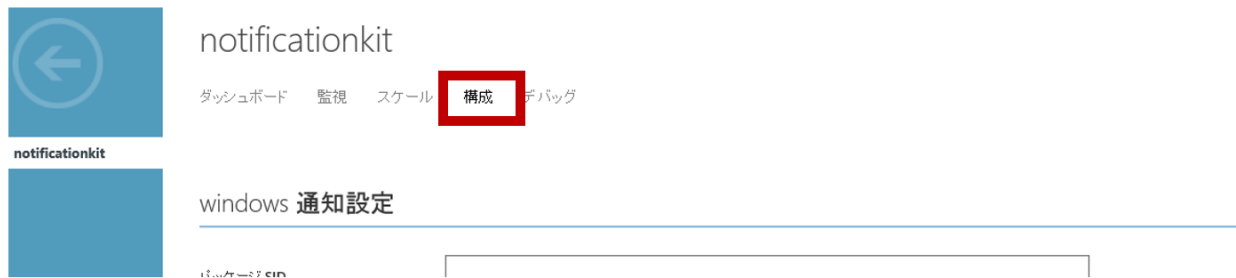
この STEP では、本 Kit の概要について説明します。

## 3.1 iOS の開発

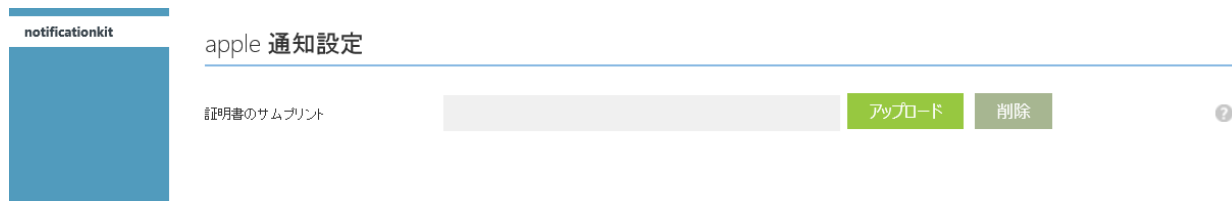
iOS アプリケーションにプッシュ通知を組み込む方法は次のサイトを参考にしてください。（なお、前のステップで通知ハブの作成は終わっているため新たに作成する必要はありません）

[http://aka.ms/nkit\\_ios](http://aka.ms/nkit_ios)

実際に通知を送るには作成した通知ハブの構成タブをに資格情報をセットする必要があります。



iOS では apple 通知設定に証明書のサムプリントを設定します。



証明書のサムプリントの入手方法は上記サイトを参考にしてください。

## 3.2 Android の開発

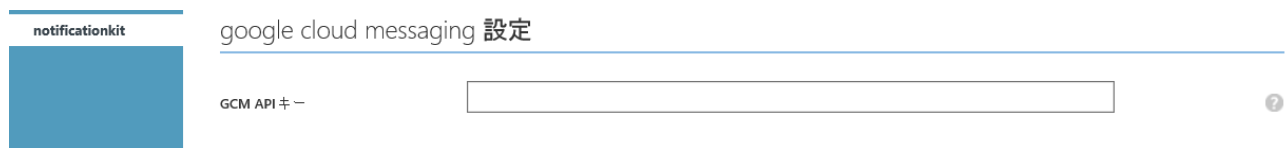
Android アプリケーションにプッシュ通知を組込む方法は次のサイトを参考にしてください。(なお、前のステップで通知ハブの作成は終わっているため新たに作成する必要はありません)

[http://aka.ms/nkit\\_android](http://aka.ms/nkit_android)

実際に通知を送るには作成した通知ハブの構成タブをに資格情報をセットする必要があります。



Android では google cloud messaging 設定に GCM API キーを設定します。



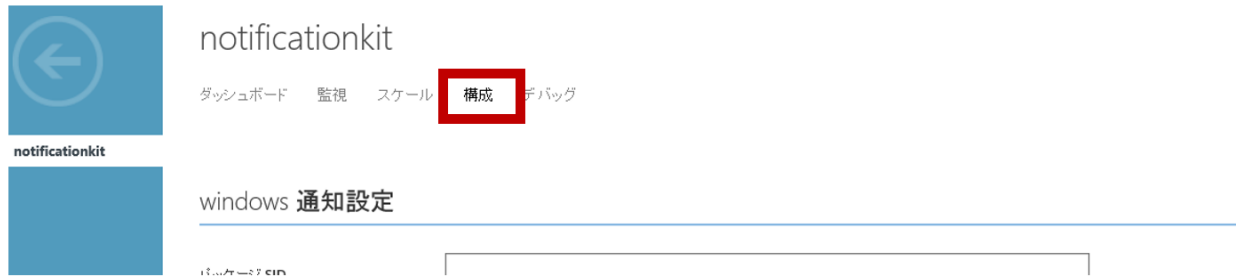
GCM API キーは Google Developer Console から取得します。具体的な取得方法は上記サイトを参考にしてください。

### 3.3 Windows Store の開発

Windows Store アプリケーションにプッシュ通知を組込む方法は次のサイトを参考にしてください。(なお、前のステップで通知ハブの作成は終わっているため新たに作成する必要はありません)

[http://aka.ms/nkit\\_ws](http://aka.ms/nkit_ws)

実際に通知を送るには作成した通知ハブの構成タブをに資格情報をセットする必要があります。



Windows Store ではパッケージ SID とクライアントシークレットを設定します。



パッケージ SID とクライアントシークレットの入手方法は上記サイトを参考にしてください。

### 3.4 Windows Phone の開発

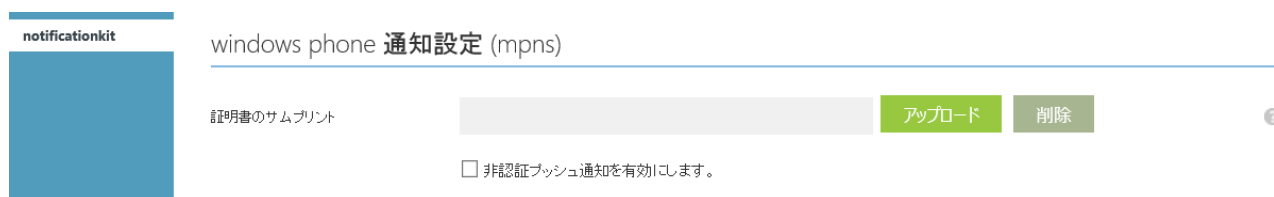
Windows Phone アプリケーションにプッシュ通知を組み込む方法は次のサイトを参考にしてください。（なお、前のステップで通知ハブの作成は終わっているため新たに作成する必要はありません）

[http://aka.ms/nkit\\_wp](http://aka.ms/nkit_wp)

実際に通知を送るには作成した通知ハブの構成タブをに資格情報をセットする必要があります。



Windows Phone ではパッケージ証明書のサムプリントを設定します。



証明書のサムプリントの入手方法は上記サイトを参考にしてください。

---

## STEP 4. Kit を利用する

この STEP では、本 Kit の使い方を説明します。

## 4.1 プッシュ通知管理ポータルへのアクセス

Azure Web サイトへ発行済みのプッシュ通知管理ポータルにアクセスします。

1. 発行先の URL にアクセスするとログイン画面が表示されるので任意のユーザーでログインします。(初回は [新しいユーザーとして登録する] から新しいユーザーの登録が必要です)

NotificationKit Home Register Login

### ログイン.

ローカル アカウントを使用してログインします。

別のサービスを使用してログインしてください。

外部認証サービスは構成されていません。外部サービス経由のログインがサポートされるようにこの ASP.NET アプリケーションを設定する方法の詳細については、[この記事](#)をご覧ください。

電子メール

パスワード

☐ このアカウントを記憶する

[新しいユーザーとして登録する](#)

2. プッシュ通知の管理ポータルが表示されます。

NotificationKit

Registration Devices Send Notification Schedule Notification

### PLATFORMS

☒ Windows  
☒ Windows Phone  
☒ iOS  
☒ Android

### TAGS

	Key	Values	Exclude
<input type="button" value="Add"/>			



## 4.2 通知の送信（Send Notification タブ）

ここではプッシュ通知の管理ポータルからデバイスに対してプッシュ通知を行います。

1. プッシュ通知の送り先になるプラットフォーム（Windows, iOS, Android）と通知メッセージの形式を指定します。

The screenshot shows the 'PLATFORMS' configuration panel. It has sections for 'Windows (Notification Type)' with buttons 'Off', 'Badge' (selected), 'Tile', and 'Toast'; 'Windows Phone (Notification Type)' with buttons 'Off' (selected), 'Tile', and 'Toast'; 'iOS' with buttons 'Off' and 'On' (selected); and 'Android' with buttons 'Off' (selected) and 'On'.

2. 実際に通知するメッセージを Message に設定します。

The screenshot shows the 'MESSAGE' configuration panel. It contains a single text input field with the value 'SendMessage' and a clear button (X).

3. 宛先を絞り込むには Tags に値を設定します。Keyword と Value の値を適切に設定して下さい。

tags に「address:hokkaido」が設定されてユーザーに通知を行う場合、Key に「address」、 Value に「hokkaido」を入力します。（tags は単なる文字列です。）

また、Value はスペースで区切るにより複数設定することができます。Not にチェックを付けると指定した条件以外のデータを検索します。Key を複数設定したい場合は[Add]ボタンを押すと条件項目が追加できます。

The screenshot shows the 'TAGS' configuration panel. It has a table with columns 'Key', 'Values', and 'Exclude'. The first row has 'address' in the 'Key' column, 'hokkaido tokyo' in the 'Values' column, and an unchecked 'Exclude' checkbox. There are 'Delete' and 'Add' buttons on the left.

4. Send ボタンを押すと対象のデバイスにメッセージが送信されます。

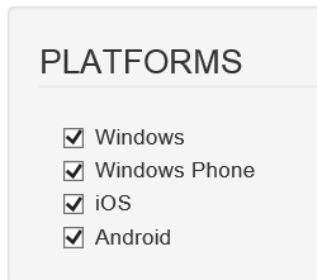


## 4.3 宛先一覧の操作（Registration Devices タブ）

---

プッシュ通知の宛先データを表示・削除・インポート・エクスポートすることができます。

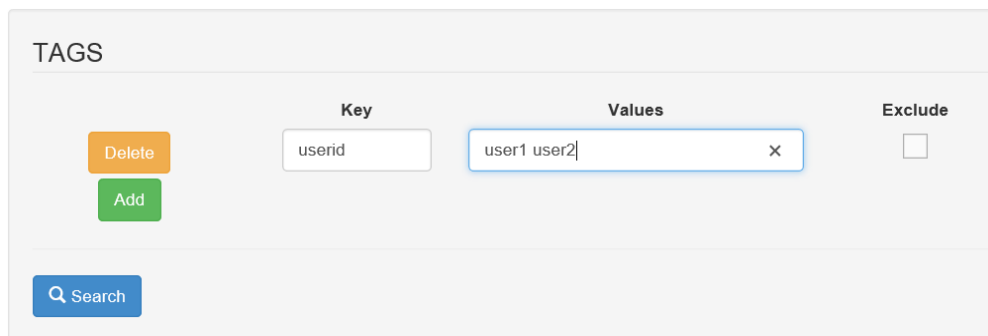
- 1 対象のプラットフォームにチェックします。



A panel titled "PLATFORMS" with a list of operating systems and their selection status:

- ☒ Windows
- ☒ Windows Phone
- ☒ iOS
- ☒ Android

- 2 Key と Value の値を適切に設定して Search ボタンを押すと宛先を絞り込むことができます。



A panel titled "TAGS" for managing search tags. It includes:

- Delete** (orange button) and **Add** (green button) buttons.
- Key** input field containing "userid".
- Values** input field containing "user1 user2" with a clear (x) button.
- Exclude** checkbox (currently unchecked).
- Search** button (blue button with a magnifying glass icon).

- 3 Export ボタンを押すと、検索条件に一致するデータを CSV ファイルで出力することができます。
- 4 Import ボタンを押すと、Export で出力した形式の CSV ファイルを取り込み、登録情報の追加、更新ができます。
  - ・追加する場合は RegistrationId を空白に設定して下さい。
  - ・更新できる項目は Handle、Tag のみです。
  - ・RegistrationTime、ExpirationTime はインポートした時刻で再設定されます。
  - ・CSV ファイルの編集時にタイトルを削除した場合は、Header チェックボックスを OFF にして下さい。
- 5 登録情報を削除したい場合は×ボタンをクリックします。

## 4.4 通知の予約（Schedule Notification タブ）

※この機能は Azure 通知ハブが標準（有料）のプランで実行されていて Web サイトの[アプリケーション設定]で UseScheduleOption を true に設定している必要があります

[ダッシュボード](#)   [監視](#)   [スケール](#)   [構成](#)   [デバッグ](#)

### 容量

通知ハブ層

無料   基本   標準

ここでは通知を予約して指定した日時にスケジュール配信する機能をご紹介します。

1. 通知を送信するプラットフォームを選択します。

PLATFORMS

Windows (Notification Type)

Off   **Badge**   Tile   Toast

Windows Phone (Notification Type)

**Off**   Tile   Toast

iOS

Off   **On**

Android

**Off**   On

2. 通知を送信する日時を SCHEDULED ON に設定します。

※日時は現在日時から 7 日以内にする必要があります。

SCHEDULED ON

2014/11/06   21:48:15   UTC +9 ▼

3. タグ、メッセージを設定して Submit ボタンを押すと通知が予約されます。
4. 正常に予約が完了すると画面下部に予約時の情報が表示されます。予約をキャンセルする場合は × ボタンをクリックしてください。

※すでに送信されている場合はキャンセルできません

RESULTS

Records: 4

NotificationId	Platform	Message	TagExpression	ScheduledOn	CreatedOn	
QNHQueueefd8da0b675a4db9b5681a6caebd6499-S38562071809359873	Windows	dfdfd		2014-11-01T17:49:00+09:00	2014-10-31T08:02:52.915364+00:00	
QNHQueueefd8da0b675a4db9b5681a6caebd6499-S52354345668182017	Windows	test		2014-10-30T21:23:45+09:00	2014-10-30T10:22:57.1391655+00:00	✕
QNHQueueefd8da0b675a4db9b5681a6caebd6499-S23362423066984449	Windows	dddd		2014-10-31T19:22:15+09:00	2014-10-30T10:22:09.9633596+00:00	
QNHQueueefd8da0b675a4db9b5681a6caebd6499-S14636698788954113	Windows	test		2014-10-30T18:33:30+09:00	2014-10-30T08:33:27.158892+00:00	✕

Azure の料金詳細については次のサイトを参考にしてください。

<http://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/>